

仙台領の石碑の代表格

今回取り上げるのは石碑です。これも立派な名所・旧跡の一つでした。

これまでにも本誌でたびたび取り上げている文政二年(一八二九)の「仙台領高名競」には、「古今とも天下に名高きもの」として最上段に「燕沢碑」「雄島碑」「多賀碑」が登場します。燕沢碑と雄島碑はそれぞれ前頭に位置づけられていますが、多賀碑だけは欄外にはみ出した位置に記されていますので、この碑だけは別格扱いだったのかもしれません。

鎌倉時代の特異な石碑—燕沢碑と雄島碑

燕沢碑とは、別名「蒙古の碑」ともいわれ、燕沢善応寺(仙台市宮城野区)にある石碑を指しています。高さは一七〇cmほど。弘安五年(一二八二)の年紀をもち、上部に梵字(サンスクリット文字)が刻まれていることから鎌倉時代の板碑(供養塔)であったと考えられています。享保八年(一七二三)に燕沢の村民が掘り出して以降、その存在が広く知られるようになり、特に世間の注目を集めたのが碑面にある特異な文字でした。江戸時代の学者らをはじめ多くの人が解読を試み、鎌倉時代の禅僧無学祖元の書とする説や後世の偽作説など諸説ありますが、い

まだに碑文の明確な意味が分かっていない不思議な石碑の一つなのです。

雄島碑とは、松島海岸近くの海の上に浮かぶ雄島にある石碑です。高さが三三五cmもあり、上部に梵字を刻み、双龍や雷紋などもあしらわれています。雄島妙覚庵に住した老僧頼賢の行実を記した石碑であることから、頼賢の碑とも呼ばれています。その碑文は、徳治二年(一三〇七)、中国から渡来した禅僧で鎌倉建長寺の住持であった一山一寧が作った文章であることが知られており、類例のあまりない石碑の一つです。

奈良時代の特異な石碑—多賀碑

多賀碑とは、多賀城市に現存するいわゆる多賀城碑です。高さ二四七cm、幅一〇四cm、厚さ七三cmもある大型の石碑です。碑面には、頭部に大きく「西」の字を刻み、その下に平城京や蝦夷国境などから多賀城までの里程、多賀城の建設と修造の沿革を記し、最後に本碑建立の年紀(天平宝字六年(七六二)十二月一日)を表しています。群馬県の多胡碑、栃

木県的那須国造碑とともに、古代に造られた日本三古碑の一つに数えられており、これも大変珍しい石碑といえます。

江戸時代の万治元年(一六五八)以前に発見され、当初から誤って歌枕「壺の碑」と同一視されますが、それがかえって文人墨客や学者らの関心を高める要因となったようです。明治・大正時代に入ると、江戸時代に偽作されたとする説が有力視されますが、多賀城跡の発掘調査の進展によって銘文どおり奈良時代の石碑と認められるにいたりました。今では重要文化財に指定されています。

何れの石碑もその特異な性質と希少性の高さから、耳目をひく存在になったといえるでしょう。

ここで取り上げた石碑は、何れも長く注目されてきた経緯をもつものですが、私たちの身近に何げなくたずむ石碑であっても、必ずその背景には造立した人々の思いと何らかの歴史が埋め込まれています。すべての石碑が「地域のたから」だということも忘れないようにしたいものです。



善応寺境内にある燕沢碑(蒙古の碑)

市制100周年記念事業として平成6年に刊行が始まった『仙台市史』は、平成27年2月刊行の第32回配本をもちまして完結いたします。

◆最終巻『年表・索引』 2月中旬発売予定 予価2,000円(税別)◆

(既刊/好評発売中)

- 【通史編】 1. 原始(改訂版とセット販売) 2. 古代中世 3. 近世1 4. 近世2 5. 近世3 6. 近代1 7. 近代2 8. 現代1 9. 現代2
- 【特別編】 1. 自然 2. 考古資料※発売 3. 美術工芸 4. 市民生活 5. 板碑 6. 民俗 7. 城館 8. 慶長遣欧使節 9. 地域誌
- 【資料編】 1. 古代中世 2. 近世1 藩政 3. 近世2 城下町 4. 近世3 村落 5. 近代現代1 交通建設 6. 近代現代2 産業経済 7. 近代現代3 社会生活 8. 近代現代4 政治・行政・経済 9. 仙台藩の文学芸能 10. 伊達政宗文書1※発売 11. 伊達政宗文書2 12. 伊達政宗文書3 13. 伊達政宗文書4



●価格(税別) 通史編/2,858円 資料編/3,810円 特別編/5,714円※板碑のみ4,762円

発売元/株式会社宮城県教科書供給所  
TEL:022-235-7181 FAX:022-235-7183  
お求めは…県内主要書店など 配送希望の場合は電話  
またはFAXで発売元までお申込みください。

仙台市史

仙台市博物館 SENDAI CITY MUSEUM  
〒980-0862 仙台市青葉区川内26番地(仙台城三の丸跡)  
TEL:022-225-3074  
http://www.city.sendai.jp/kyouiku/museum/